



# 議会だより

第

# 121

号

## 群馬県昭和村議会

令和8年2月1日 12月定例会



3年1組



3年2組



### Contents

- 2～7 中学生議会
- 8～9 12月定例会
- 10～11 各常任委員会

- 12～13 全協・視察研修報告
- 14 トピックス
- 15～21 村の姿勢を問う
- 22 地域でがんばる人

## 第20回

# 中学生議会

令和7年11月11日に第20回中学生議会が役場議場において開催。村政と議会に関心を持っていただくため実施をしています。若者目線で、農業振興や村おこし、学校環境の課題や村の活性化策など、スライドや資料を交えながら発想豊かに質問や提案がありました。

## 3年1組

### 1班 「安心・安全の昭和村にするために」

星野遼・眞庭凱仁・高橋にこ・吉野新柳・山田光輝

#### 問

通学路に問題が生じた場合の対処方法は。

#### 答

毎年「昭和村通学路安全推進会議」を開催し、危険個所の確認や改善要望の把握に努め、安心して登下校できる環境の維持に努めます。

**提案** 通学路の危険個所を気軽に相談できるホームページの作成を提案します。

#### 答

「広報しようわ」に相談窓口や二次元コードを掲載し周知を図ることは、相談しやすくなる手段の一つであると思います。今後の参考にしたい。

#### 問

高齢者や小中学生が安全に渡れるよう、歩行者用信号を増やすことはできますか。

#### 答

危険な箇所は、警察と協議を重ね、安全で安心して歩行できる環境づくりに努めています。

**提案** 村内の道路に歩行者用信号を増やすことを提案します。

#### 答

信号機の設置は、村の判断だけでは行えず、警察署を通じて県公安委員会が交通量や事故発生状況などをもとに必要性を判断し設置します。

## 2班 「村おこし」

小池理仁・藤井晴馬・高橋輝親・武部心輝

#### 問

人口減少の対策はどのようなことをしていますか。

#### 答

出生時に誕生祝金の支給、保育料や学校給食費の無償化など、子育てしやすい村づくりとともに、人口減少対策を進めています。

**提案** 出産時の給付金を現在の10万円から15万円へ引き上げようを提案します。

#### 答

村独自の「誕生祝金」は、家庭の負担を軽減する短期的な効果を期待するもので、安定した雇用環境や適切な住環境など、総合的な取組が必要です。

#### 問

昭和村は、野菜などが有名ですが野菜をどのように生かしていますか。

#### 答

道の駅への来客者や、横浜市などへのイベントでは、昭和村をPRするためのツールとして活用しています。

**提案** 楽しく学べる食育拠点として、野菜のテーマパーク施設を作り、地域全体の活性化を目指すことを提案します。

#### 答

野菜のテーマパークというアイデアは、昭和村の良さを最大限に活かすことが出来ると考えます。

## 3班 「健康と福祉の両立をし、その先の笑顔へ」

小澤愛麗凪・田口慈人・星野碧良・中川心菜

#### 問

ペットボトルのキャップ集めを行い、活用していますか。

#### 答

キャップのみの回収は行っていませんが、容器包装プラスチック（指定プラスチック）と一緒に回収し、再商品化事業者に引き渡し、リサイクルしています。

**提案** ワクチンが作れて福祉貢献、二酸化炭素の排出削減ができるペットボトルキャップ集めを提案します。

#### 答

意義のある取り組みと認識しています。





昭和村社会福祉協議会が、キャンプを集め、ワクチン代に変わる活動をしています。村も可能な範囲で協力します。

**問**

県内の医療費無償化は18歳までですが、高齢者に該当する70歳以上の無償化をする予定はありますか。

**答**

70歳以上の高齢者は、所得に応じて1割から3割までの割合で、医療費を負担いただいています。一定の障害がある場合に医療費が無償となっている方もおりますが、現在のところ、その対象を拡大する予定は有りません。

**提案** 70歳以上の高齢者の医療費を無償化することを提案します。

**答**

無償化するための財源が課題です。70歳以上の方が医療機関で支払った自己負担額は、約1億8千万円で、社会保険に加入されている自己負担額も加わり、毎年全額を村が負担するか現役世代に負担いただく必要が出てきます。現状では難しい状況にあります。

**4班 「野菜の力で昭和村をもっと明るく！」**

綿貫蓮・谷川翔柱・倉澤颯汰・竹之内明紗

**問**

昭和村の美味しい野菜をたくさんの人に知ってもらい食べていただくために、どのような活動や発信を行っていますか。

**答**

村と交流のある横浜や取手市など村外で開催されるイベントへの

参加。道の駅めぐりや昭和での各種イベントやふるさと納税の返礼品。毎月29日を「やさしい王国昭和村の日」とし、こんにやくや野菜などの周知、消費拡大を図っています。

**提案** 昭和村の魅力を体験できる場所を増やし、SNSや動画を活用して視覚的に魅力を伝え、地域ならではの体験プログラムやイベントを実施することを提案します。

**答**

村と道の駅でSNS等を活用し、村の魅力を発信しています。農作業体験や食の体験など新たなプログラムの企画・実施に注力し、村の魅力を多角的にPRしたいと思えます。

**問**

農家の高齢化と後継者不足問題についてどのような対策をしていますか。

**答**

新規就農の相談や、国の補助事業の支援など行っています。若い世

代が安心して農業を始められる環境づくりやITを活用した農業ができるよう環境整備を進めて行きたい。

**提案** 外国人労働者と新規就農者への補助などの支援を提案します。

**答**

新規就農者には、補助事業を活用し、農業機械やハウス導入経費を支援。技能実習生として多くの外国人が働いており、金銭的な補助はしていませんが、日本語教室を開催しています。

**5班 「誰もが楽しく暮らせる昭和村にするために」**

堤大偉也・綿貫花穂・武井菜心・田村真央

**問**

誰もが楽しく遊べる施設を作る計画や取り組みを進めていくことについて、どのように考えていますか。

**答**

遊べる施設として「ふれあいグリーンパーク」があり、新たな施設計画は、現在のところありませんが、今後、施設更新にあわせ考えて参ります。



**提案** 人口増加を目指して、子どもたちが楽しく遊べる施設を設置することを提案します。

**答** 誰もが魅力を感じる施設があることで、少子高齢化や人口減少対策にも繋げていけるという発想は大変素晴らしいと感じます。新たにつくる予定はありませんが、既設施設を充実させ、更新に合わせ考えたい。

**答** 誰もが魅力を感じる施設があることで、少子高齢化や人口減少対策にも繋げていけるという発想は大変素晴らしいと感じます。新たにつくる予定はありませんが、既設施設を充実させ、更新に合わせ考えたい。



**問** 森林スポーツを活用した際に、余った木材をなにかに利用していますか。

**答** 森林スポーツの実施に伴い発生した余剰の木材、間伐材は、細かく砕いてチップ化し、総合運

動公園の遊歩道などで利用しています。今後も資源を無駄にすることのないよう、活用方法を考えて参ります。

**提案** 森林間伐材を利用して、公園のベンチや幼児の遊び道具に利用して欲しい。

**答** 環境にもやさしく、木の温もりを感じられる素晴らしいアイデアと思います。地域の資源を生かした遊び場づくりや公共施設整備などに、さらに活用できるよう考えていきたい。

**答** 環境にもやさしく、木の温もりを感じられる素晴らしいアイデアと思います。地域の資源を生かした遊び場づくりや公共施設整備などに、さらに活用できるよう考えていきたい。

**6班 「誰もが快適な環境をつくるために」**

和南 凛希・星野 静空・小野 珠希・鈴木 悠真・井熊 芭瑠

**問** 昭和中で体育館や1階と3階のホールに

冷暖房が無く困っています。空調設備の改善はどのようなお考えですか。



**答** 平成30年に村内4小中学校の普通教室と特別室の一部にエアコンを設置して以降、必要性が高いと思われる教室等への設置を進めています。今後、小中学校の統合や統合後の施設利用方針などの検討を含めて、学校とも十分協議をし、進めていきたいと思っています。

**提案** 学校内での過ごしやすさを快適にするために、冷暖房を設置することを提案します。

**答** 毎年F F 暖房機の計画を行っています。今年度の酷暑は例年以上の状況であったため緊急対策として、2階ホールに新たなエアコンを設置しました。体育館は建物全体の断熱化など大規模な改修工事が必要となる

ため、十分な協議・相談を行いながら進めたいと考えています。

**問** 公民館の自習室の利用状況と利用方法は、どのようになっていますか。

**答** 夏休み等の長期休暇時に利用が多少ありますが、平時の利用はほとんどありません。「受験対策スタディールーム」を開設し延べ101人利用頂きました。平日であれば夕方6時まで利用できる自習スペースがあります。要望があれば夜の10時までの利用や休日の開放も対応できます。

**提案** 公民館にある自習室の改善を提案します。

**答** 室内での飲食は可能ですし、学習スペースは空調もあり、WiFiを利用することもできます。中学生の皆様が積極的に利用いただくことが最も効果的な周知になるかと考えます。

**答** 室内での飲食は可能ですし、学習スペースは空調もあり、WiFiを利用することもできます。中学生の皆様が積極的に利用いただくことが最も効果的な周知になるかと考えます。



議 長  
和南 凛希

**【議長を務めて】**

私は今回中学生議会で議長を務めさせていただき、議長として話し方や姿勢、態度など多くのことを意識して、大きな緊張感と責任を感じました。

議会に向けて提案内容をじっくり考えたり、実際のやりとりを聞いたりする中で、村の仕組みや取り組み、そして地域の課題についても深く学ぶことができました。この経験を生かし、村の一員として自分にできることを考え、積極的に行動していきたいと思えます。また、これからより良い昭和村にするために責任感をもって関わっていききたいです。

今回はこのような貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。

# 3年2組

1班「村民だけでなく他地域の人も安心して楽しめる昭和村」

諸田琉空・中沢万明・後藤かれな・新井弥来・横坂奏



**問** ふるさと納税が現時点で減少しています。改善のために何か取り組んでいますか。

**答** 減額の要因は、制度が変更となり、取り扱うことが出来ていた返礼品が対象外となったことです。今年8月からサイトの中でも多くの顧客を抱えている「ふるさとなび」への出展を開始し、一定の効果があつたと考えます。

**提案** ふるさと納税の返礼品見直しとPR強化を提案します。

**答** 返礼品で人気なのは「バルミューダ扇風機、羊羹、ビーフカレーで、野菜関連で人気なのは「とうもろこし」。SNSの活用やパンフレット作成、他の地域イベントでのPRなどは、ふるさと納税を増やす有効な手段と思います。

**問** 防災グッズを持っている人はどのくらいいるのでしょうか。

**答** 国の防災に関する世論調査では、自宅に食料品を備蓄している家庭は4割程度と言われています。

す。各地域への自主防災組織の設立を進め、緊急時に安全が図れるよう災害対策に取り組んで参ります。

**提案** 村の人へ防災グッズの無料配布を提案します。

**答** 既に設立された地域の自主防災組織では、購入費用を村が助成し、災害時に備えた防災用品を揃えているところです。防災グッズの無料配布は、今後の防災対策の取り組みの参考にさせていただきます。

2班「村おこしをして楽しい昭和村へ」

高嶋愛彩・金子悠乃・星野寛太・坂本隼・徳江文禮

**問** どのような人口減少対策を行っていますか。

**答** 出生時の誕生祝金支給、保育料や学校給食費の無償化など、子育てしやすい村づくりとともに、人口減少対策を進めています。

また、住宅用地として森下地内へ6区画の分譲地整備、小・中学校入学に伴う入学祝金支給など、今後も子育て支援を軸に、継続して人口減少対策を力強く進めて参ります。

**提案** キヤノンの前の桜の木道を使って、お祭りを開催することを提案します。

**答** 令和6年度から桜の開花にあわせて、「しょうむらさくらまつり」を開催し、トラクターパレードや「しょうむらマルシェ」開催など、多くの来訪者があります。桜の開花にあわせ夜間のライトアップも実施し、「やさしい王国昭和村」の魅力を発信するイベントとしていきます。

**問** 若者が集まって遊べる場所の建設について、何か企画していますか。

**答** 今のところ具体的な構想や企画などは無い状況にあります。



**提案** 自然を活かしたテーマパークなどの建設を提案します。

**答** 村内には総合運動公園、ふれあいグリーンパーク、道の駅あぐりーむ昭和などの施設がありますので、これらの施設や周辺の自然を効果的に活用し、若者達が集まったり遊んだりできる、魅力ある施設となるよう整備していきたいと考えています。



循環型農業や環境にやさしい地域づくりを考えるうえで参考になります。

**5班 「安心・安全で充実して暮らせる村づくり」**

高橋寧々・武井愛心・望月逢太・高塩奈未

**問** 街灯を設置するにあたり、どのような場所に設置したいと考えていますか。

**答** 各行政区において、生活上必要な場所に街灯を設置していただき、村で設置費用の補助と電気代の負担をしています。通学路は、「昭和村通学路安全推進会議」で、街灯の設置も含め、危険箇所改善を協議し対策を講じています。

**提案** 事故防止のための街灯の増設と交通安全週間の実施を提案します。

**答** 街灯の増設については、各行政区と相談し、通学路安全推進会議か

らの提案を頂き、改善に努めて参ります。交通安全週間は年4回実施され、安全会や交通指導員等に協力を頂き、通学路での朝の街頭指導や村内2か所で交通事故防止の取り組みを行っています。

**問** 公園などの施設を作れる土地はありますか。



**答** 村が所有し、住民の方の利便性が高く、新たな公園整備に適した形で、スポーツやランニングが出来るような広さを兼ね備えた土地は無いのが現状です。しかし、村有施設

の統廃合などで、活用されなくなった土地は出てくる可能性があります。

**提案** 小中一貫校を見越し、小中学校の跡地などに誰もが行きやすい公園の設置を提案します。

**答** 小中学校を統合した場合の跡地利用は、地域の方とともに、地域づくり村づくりの観点から、幅広い議論が必要であると考えます。「誰もが行きやすい公園の設置」を議題として、他の案とともに検討していきたいと考えます。

**6班 「子供達のために運動の場を設け、村を活性化させる」**

伊津野孝太・南雲陽葵・新田美瑛・石坂呂維

**問** 地域移行が進み、部活動がなくなり、クラブなどに所属せず、運動をする機会が減ってしまう生徒が多くなってしまっていると思います。取り組みは考えていますか。

**答** 国の方針を踏まえ、令和6年3月に「昭和村部活動地域移行推進協議会」を設立し、協議をしています。令和10年度末までに、土曜日の学校部活動の全てを地域クラブに展開できる環境づくりを目指しており、地域関係者及び文化関係者で、地域展開の体制を考えています。

**提案** 小学校で行われている「子ども教室」のような活動を中学校にも取り入れ、放課後に定期的な運動教室を開催することを提案します。

**答** 令和10年度を目安に、随時土日の学校部活動を地域展開し、平日の放課後は今まで通り学校部活動が行われます。令和11年度以降は、地域の事情を踏まえながら、平日放課後の学校部活動も次第に地域展開が開始される予定ですが、こども教室の発想を生かしていきたいと考えます。

**答** 最初は緊張してうまくできるのか不安でしたが、役場の方々が当日の流れなどを丁寧に教えてくださり、安心して本番に臨むことができました。今回、議長という立場で責任の大きさを学ぶことができ、緊張感の大切さも実感しました。中学生議会を終え、執行部の方々がどれほど活動しているのかを知り、関係している方々に感謝しなければならぬと感じました。私たちは三年後には選挙権をもち、十年後には被選挙権をもちます。そのため、日頃から選挙や政治に興味をもち、昭和村を支えていけるよう行動していきたいです。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございます。



議長 長 川端 晏

**【議長を務めて】**

最初は緊張してうまくできるのか不安でしたが、役場の方々が当日の流れなどを丁寧に教えてくださり、安心して本番に臨むことができました。今回、議長という立場で責任の大きさを学ぶことができ、緊張感の大切さも実感しました。中学生議会を終え、執行部の方々がどれほど活動しているのかを知り、関係している方々に感謝しなければならぬと感じました。私たちは三年後には選挙権をもち、十年後には被選挙権をもちます。そのため、日頃から選挙や政治に興味をもち、昭和村を支えていけるよう行動していきたいです。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございます。

# 12月定例会

今定例会は、12月3日から11日までの9日間の会期で開催。議案19件が提出され審議しました。いずれも原案のとおり可決。また、7人の議員が一般質問をし、村の姿勢を問いました。

## 条例改正

**昭和村議会議員及び昭和村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例**

選挙運動の公費負担について次のように改正する。  
選挙運動用ビラ作成単価「7円73銭」を「8円38銭」に改め、選挙運動用ポスター作成単価「541円31銭」を「586円88銭」に改める。

**昭和村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例**

令和7年度の人事院勧告に伴い、給与及び報酬等について、関係する7本の条例を改める。

**昭和の森の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例**

本条例のうち、昭和の森山荘を削除する。建設から年数が経ち、施設の老朽化が著しく公営による継続が困難であることから昭和の森山荘を廃止する。

**昭和村税条例の一部を改正する条例**

主な改正内容は、個人の住民税の所得控除に、「特定親族特別控除額」を追加。国のたばこ税の見直しにより「加熱式たばこに係わる村たばこ税の課税標準の特例」を追加。また「公示送達」について、インターネットを用いる方法が追加される。

**昭和村公民館条例の廃止**

昭和村公民館を昭和村コミュニティセンターへ変更するため、本条例を廃止する。

**昭和村公民館使用料条例の廃止**

昭和村公民館を昭和村コミュニティセンターへ変更するため、本条例を廃止する。

**昭和村コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の制定**

社会教育法上の公民館制度では営利目的での使用制限があったが、コミュニティ

センターに移行することにより、地域の実情に応じた柔軟な運営が可能となる。

## 補正予算

**一般会計補正予算(第3号)**

増額。3億2,551万1千円

**総額**

56億542万4千円

赤城北麓の特定農業用管路特別対策事業負担金、宅地分譲地の売り払い収入、ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の実績など。

**国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

5,328万円増額

**総額**

12億8,401万4千円

療養諸費、高額療養費、医療給付費など増額。

**介護保険特別会計補正予算(第2号)**

4,820万円3千円増額

**総額**

8億5,795万5千円

介護予防サービス給付費、高額介護サービス費等々。

**後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)**

255万8千円増額

**総額**

1億2,466万円

後期高齢者医療広域連合納付金の増額。

**簡易水道事業会計補正予算(第2号)**

178万6千円増額

**収益的収入**

1億7,352万7千円

**収益的支出**

1億7,271万8千円

施設の修繕費の増加。

**下水道事業会計補正予算(第2号)**

23万5千円増額。

**収益的収入**

2億6,851万1千円

**収益的支出**

2億638万6千円

**資本的支出**

2億406万6千円

修繕費用など。

その他

利根沼田地域定住自立圏形成協定の一部変更

圏域内の働き手及び働く場所の確保、専門人材の養成を推進するため「地域内雇用の推進」を加え、圏域内自治体職員の交流、合同研修の取組内容を変更する。

群馬県市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議

令和8年4月1日から、「みどり市」が加入。「太田市外三町広域清掃組合」の名称が「太田市外三町清掃斎場組合」に変更。

群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議

令和8年4月1日から、共同処理の組織団体の太田市外三町広域清掃組合の名称が太田市外三町清掃斎場組合に変更される。また共同処理を行っている災害弔慰金の支給等に関する事務を終了する。

群馬県市町村総合事務組合の災害弔慰金の支給等に関する事務に係る共同処理の取り止めに伴う財産処分に関する協議

令和8年4月1日から、共同処理を行っている災害弔慰金の支給等を取り止めることから、市町村総合事務組合が管理する財産を処分する。

締結

昭和村消防団第1分団森下ポンプ車購入契約の締結

3,300万円で契約。  
温井自動車工業株式会社

昭和村消防団第2分団楢久保小型ポンプ車購入契約の締結

2,102万1千円で契約。  
温井自動車工業株式会社



提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。

第4回定例会（令和7年12月3日～11日）

		堤宏康	佐藤好美	林栄一	倉沢つかさ	林勝美	阿部孝司	片柳悦夫	藤井貞充	林幸司	加藤生	沢浦典子	永井一行
議案42号	昭和村議会議員及び昭和村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案43号	昭和村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案44号	昭和の森の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案45号	昭和村税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案46号	昭和村公民館条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案47号	昭和村公民館使用料条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案48号	昭和村コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案49号	利根沼田地域定住自立圏形成協定の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案50号	群馬県市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案51号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案52号	群馬県市町村総合事務組合の災害弔慰金の支給等に関する事務に係る共同処理の取り止めに伴う財産処分に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案53号	令和7年度昭和村一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案54号	令和7年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案55号	令和7年度昭和村介護保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案56号	令和7年度昭和村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案57号	令和7年度昭和村簡易水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案58号	令和7年度昭和村下水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案59号	昭和村消防団第1分団ポンプ車購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案60号	昭和村消防団第2分団小型ポンプ車購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

みなさんからの請願・陳情

自 令和7年8月26日 至 令和7年11月21日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
42	R7.9.5	令和8年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願	公益社団法人日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇	—	文教産建	趣旨採択
43	R7.10.27	学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願	一般社団法人日本教材備品協会 会長 大久保 昇	—	文教産建	趣旨採択

# 総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

## 所管事務調査 前橋市「赤城少年院」を視察

12月5日に総務民生常任委員会を開催し、所管事務について調査・協議しました。

**問** 毎月29日の「やさしい王国昭和村の日」の反応は

**答** 企画課

道の駅では、昭和村の日に合わせて訪れる方も徐々に増えている。引き続き周知していく。

**問** 路線バスの利用状況は

**答** 企画課

中学生へのスクールバス導入もあり、減ってきている。デマンドバスは時間帯によっては利用が集中する。

**問** 消防団の今後の在り方について

**答** 総務課

村を4つの方面に分けた

組織の案もあった。ポンプ等の機械器具の使い方は、中継訓練の際に広域消防に講座をお願いしている。女性の消防隊も後方支援として検討課題である。

**問** マイナ保険証について

**答** 住民課

国保や後期高齢の方でマイナ保険証がない方には、資格確認書を発行している。

**問** 森下の住宅分譲の状況

**答** 企画課

2件の契約の内、1件は建築が進んでいる。残りの区画は現在、申し込みがない。

### 視察研修

群馬県前橋市上天屋町

「赤城少年院」を視察

少年院の目的は、家庭裁判所の決定により、保護処

分として送致された①主に犯罪非行等を犯した20歳未満の少年を収容する施設であり、②健全育成に資する処遇(生活)を行わせ、③収容された少年の特性に応じた適切な矯正教育を実施し、④社会復帰に向けた支援を行う施設となっている。③については、個別担任制のもと個々の特性に応じ、教育目標を立て、目標を細分化し、計画的に継続して取り組んでおり、④については、出院後に自立した生活を営む上で困難を有する者に対して、その意向を尊重しつつ支援を行っている」と説明をいただいた。

中でも、④では、具体的な項目として

1. 適切な住居その他宿泊場所を得ること・帰宅することを助けること
2. 医療及び療養を受けることを助けること
3. 就学または就業を助けること

が挙げられていた。これらのことは、村の施策としても基本的かつ重要な項目でもある。

その後、施設内を案内いただいた。機能的に配置された建屋。院生の作品の掲示や展示。掃除の行き届いた教室。整理された居室。どれも整然とし、生活上の規則が徹底され、「凜」とした空間となっており、施設全体として「改善更生」を醸し出していた。

視察する中で、多文化共生の時代においても、施策として基本的かつ重要な項目を再認識させられた。それらの、具現化のためにも村民の声を尊重し、各施策に反映させ、計画的に継続的に取り組む重要性を教えられた。



院長による概要説明

# 文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水などに関する事項を所管

## 陳情2件を審査「趣旨採択」 渋川市「赤城西麓土地改良区」など視察

12月8日に文教産建常任委員会を開催し、陳情2件について、審査しました。

### 審査

「令和8年度 理科教室設備整備費等補助金予算計上についてのお願」を趣旨採択

小中学校所管の教育委員会に、各学校の理科教育設備等の状況について確認した。

各学校とも理科教材や実験器具など、必要なものは予算計上され、足りており、先生の準備や片付などは、支障も無くできているとの説明を受けた。

これらを踏まえ、慎重に審議した結果、全会一致で「趣旨採択すべきもの」とした。

「学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願」を趣旨採択

各学校とも、教育委員会と必要な教材等の協議・調整がなされており、安定的・計画的な調整が図られるとの説明を受けた。

これらを踏まえ、慎重に審議した結果賛成多数で「趣旨採択すべきもの」とした。



新たに購入した顕微鏡

### 所管事務調査

問 熊対策の小中学校の指導・対策は

答 教育委員会

村内の校長会で、登下校中等の熊の出没対応について協議した。

問 今後の除雪計画について

答 建設課

委託5事業者と会議を実施し、除雪に備えた準備をしている。

また、広報等で除雪路線を示す予定である。

### 視察研修

群馬県渋川市

「赤城西麓土地改良区」

赤城西麓地区は受益面積2,400ha、標高350m、950m、沼田市・昭和村・渋川市・前橋市、組合員数2,761人で構成。昭和58年12月に設立され、

土地改良区の業務は、国営施設・県営施設の維持管理や、県営推進事業として地元調整・換地作業、新規農産物の導入・栽培・販売戦略と営農も推進しているなど、赤城西麓地区の概要について詳細に説明を受けた。

さらに、クラウド化された管理システムも新設され、改良区の管理業務が先進的に行われていること、頭首工（灌漑用水の取水口）もリアルタイムで画面を通して管理している状況等、丁寧な説明があった。農業が基幹産業の昭和村にとって、非常に重要な施設であることをあらためて認識した視察となった。



管理システム

昭和村東部簡易水道浄水場 本村中野地区にある膜ろ過施設を現地調査。

膜ろ過は、小さな孔のついた膜により、原水中の不純物を取り除く物理的なプロセスによるろ過方法。現地を調査、経費等の問題はありますが、24時間エリア地区の住宅等に安全で安心な飲料水として、提供されている。



膜ろ過施設

# 全員協議会

10月・11月・12月に開催した全員協議会での協議内容は以下のとおりです。

10月31日

## 第6回昭和村統合小中学校推進協議会の報告

地域説明会の状況や、義務教育学校の方針決定について、建設候補地の選定方法について説明を受ける。

## 赤城北ろく土地改良区事業の進捗状況

追分、東中野、二本松区、松ノ木平地区の事業執行計画について説明を受ける。

## 昭和の森山荘の公募について

土地及び既存建物の購入希望者について説明を受け協議する。

## 沼田病院存続について

村長より協議状況等の説明を受ける。



改修予定の農家レストラン

## 小中学校のクマへの対応について

教育長より各学校への対応について説明を受ける。

## 道の駅めぐりむ昭和のレストランについて

空き店舗となったレストランについて、施設の改修計画、今後の募集方法について説明を受け協議する。

## 常任委員会による先進地行政視察

各常任委員会で所管する事項について、先進地の取組状況を視察しましたので報告いたします。

10月21日から23日

## 文教産建常任委員会

### 京都府精華町

精華町は南西端に位置し、併せて日本そして近畿圏のなかで、ほぼ地理的中心に位置しています。なだらかな丘陵、平坦な農地、そして木曾川が流れていて、万葉の時代から続く歴史と、文化の積み重ねがある町です。関西文化学術研究都市の中心地として、各種最先端の研究施設が立地し、新たな都市建設が進み成長を続けています。

開催、ワールドカフェ方式で、住民と一緒に考え、意見交換を実施しています。「チーム議会」「よりよい議会」を目指し、議会活性化に取り組んでいます。

議長をはじめ議員の方々の説明は、今後の本村の議会活動に大いに役立てていきたいと思えます。

「議会基本条例」に基づき、議会・議員の能力を高める取り組みは、町の活性化に繋がっています。



精華町議会は、「今のままでは住民の期待に応えられない」と考え、議会の活性化を進めており、「前例主義」ではなく「まず、やってみよう」の精神で取り組んでいます。活性化を進める「視点」は、「住民と共に学び・考え・実践する」にあり、住民参加の研修会の

## 公益社団法人

### 京のふるさと産品協会

昭和47年、京都市に設立された協会は、正会員1府・26市町村・J A 5団体・その他12団体と賛助会員並びに個人等で組織されています。

安心・安全な府内産農林水産物やその加工品のブランド推進を行うとともに、農産物の価格安定を図ることにより、農産物の安定生産と府民に対する食料の安定供給対策を確立し、府内の地域経済の振興と府民の豊かな消費生活の確保に寄与することを目的としています。

高品質で生産履歴や、製造工程の明らかな安心・安全な府内産農林水産物や、その加工品を府民等消費者に提供する「ブランド推進」に関する事業を先進的に展開しています。

「やさしい王国昭和村」を掲げる農業を基幹産業とする本村に大いに役立つ視察研修となりました。

11月26日

**第7回昭和村統合小中学校  
推進協議会の報告**

義務教育学校建設用地の提案までの進め方と今後のスケジュールについて、説明を受ける。

**民生委員児童委員の一斉改選について**

民生児童委員の改選に伴い、新規委員の候補者14名の説明を受ける。

**公共物の用途廃止について**

利根沼田農業協同組合の新集荷場予定地の一部として利用するため、公衆用道路の用途廃止について協議する。

**財政見通しについて**

統合小中学校の建設や老朽化している村内施設の大規模改修を含めた、今後10年間の財政状況について報告を受け協議する。

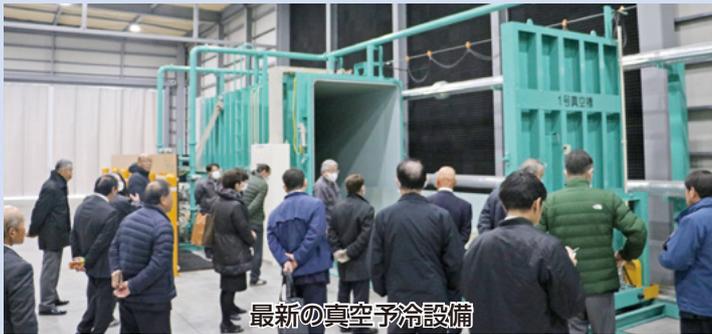
12月9日

**道の駅あぐりーむ昭和のレストランの改修工事について**

補正予算2,000万円を計上。改修工事について説明を受け協議する。

**株式会社エムズフーズ北関東事業所視察**

今年4月に赤城原地内に開所した(株)エムズフーズ北関東事業所の事業概要と最新の設備を整備した施設の説明を受ける。



最新の真空予冷設備

11月18日から20日

**総務民生常任委員会**

**広島県三原市**

人口約8万6,300人、広島県の中央東部に位置しています。

今回は、移住・定住支援について意見交換をいたしました。

三原市の施策の全体像として、まず移住無関心層に魅力を伝える【知らせる】。次に、移住関心層を引き込み【導く】、移住検討層の後押しをする【繋ぐ・促す】。そして、移住達成層へ定住の支援をする【支える】。

ターゲット層に合わせて4段階に区分し、区分ごとに取り組み項目を細分化し、計画的に取り組んでいきます。

具体的な施策として、移住ポータルサイト「すんでみはら」、デジタルマーケティング、移住オンライン相談会などのデジタルツールの活用。

また、移住定住フェア、空き家バンク、地域おこし協力隊などのリアルな人の

つながりを準備してました。本村でも取り組んでいる施策も多々見られました。お話し暮らし滞在費補助事業、移住支援事業、新婚新生活支援事業、空き家改修等支援事業等の支援事業が特徴的でした。

地域おこし協力隊事業では、役割、謝金など基本的な部分においては本村と大差は見られませんでしたが、募集段階において、地域課題に取り組む【コミュニティ型】と市役所内で抱える問題解決に向けて取り組む【テーマ型】と希望者の実態にに応じている点が特徴的でした。

また、新規隊員希望者と受入地域のミスマッチを防ぐため「お試し地域おこし協力隊」や、外部専門家によるアドバイザーの配置など定着率の向上に向けた取り組みも特徴的でした。

この結果、地域おこし協力隊の定住率は令和3年以降77・8%で、令和4年においては100%の状況でした。

また、移住定住フェア、空き家バンク、地域おこし協力隊などのリアルな人の



広島市では、戦後、計画的に整備された町並みの中に、広島平和記念資料館・原爆ドームや縮景園などが象徴的に位置付けられているようでした。これらの資源を有効活用し観光需要や交流人口の増加に結び付けている様子が伺えました。本村において、大変示唆に富んだ視察となりました。今回の視察で得たことを、今後の政策提言に結び付けていく必要性を強く感じました。

# 視 察・調 査・トピックス

## 町村議会議員研修会

11月5日、玉村町文化センターで開催され、議員全員参加で研修を受けました。

講演Ⅰ

『地方議会のデジタル化の意義と課題』

明治大学専門職大学院ガバナンス研究科

教授 湯浅 聖道 氏

講演Ⅱ

『自局展望』

政治ジャーナリスト 細川 隆三 氏



## 盗難防止パトロール

11月7日・14日の2日間で、2班に分かれて農作物や農業機械の盗難被害を防止するため、夜間にパトロールを実施しました。

## 第58回村民バレーボール大会

11月3日、村民バレーボール大会にソフトバレーの部で参加しました。



## イーグルポイント市長ら来村

10月2日から7日の間、アメリカ合衆国オレゴン州イーグルポイント市より、カシー市長をはじめ、昭和村に縁のある方々が来村。昭和の秋まつりに参加したほか、座禅体験やお茶会等の日本文化にも触れ、より一層の友好関係が築けたと思います。



## 町村議会広報研修会

9月29日、群馬県市町村会館で開催され、広報編集特別委員会が参加しました。

講演内容 「読まれる広報誌にするには」

講師 (一社)日本経営協会 中本正樹 氏





林 勝美 議員

## 緊急銃猟はどの様に行われたか

### 村長 4つの条件を満たし実施

#### 獣害(特にクマ対策)について

**問** クマの出没状況はどうか。

**答** 村長

目撃情報や足跡などを含め、本年度は4月から12月の間に35件を確認している。

**問** 村民への情報提供はどの様に行われているか。

**答** 村長

クマ出没時においては主に防災無線と集めるによる情報提供。  
また、広報や回覧で注意喚起やクマを誘引する原因に対する対処依頼を目的に活用している。

**問**

緊急銃猟の実施について。

**答** 村長

永井地区の住宅地に設

置したイノシシ用の箱わなに、ツキノワグマが錯誤で捕獲されたことから、法令で定められた4つの条件を全て満たすと判断し、緊急銃猟を実施した。

捕獲・追い払い体制と支援対策は。

**問**

**答** 村長

昭和村鳥獣被害対策実施隊は14名。うち6名は

#### インターネットのサイバー攻撃対策

**問** 昭和村の防御態勢はどうか。

**答** 村長

群馬県自治体情報セキュリティクラウドに加入している。24時間体制の監視と緊急対応が可能で、共同運用により、安全性、監視体制、費用面で優れている。

クマ対策を担当。ITを活用し、見回りの効率化と安全性向上を図る。



**問** 予防対策の強化について。

**答** 村長

電気柵設置補助、放置果樹の撤去、生ゴミ管理の徹底など、生活圏にクマを寄せ付けない環境づくりを進める。加えて、新たな予防対策について調査研究を進める。

**問** 個人情報、が流失した場合の対応は。

**答** 村長

速やかに事実を公表し、原因究明と復旧を行う。広報誌、ホームページ、SNSなど、あらゆる媒体を使い、村民に広く周知する。

**問**

バックアップと復旧体制はどの様に行っているか。

**答** 村長

1週間分のデータをバックアップ。感染時には端末をオフライン等にし、委託業者と連携して復旧を行う。

林 栄一 議員



## クマ被害の現状と未然防止の対応策は

### 村長 ゾーニング管理に取り組みクマ被害を未然に防ぐ環境づくりを推進

クマ被害の未然防止は、熊鈴やラジオなどを携帯、熊スプレーも有効。餌となる柿の実や生ごみの処理で、クマ誘引の原因を減らす。クマの生態を知ることは、熊対策に必要。クマ被害を未然に防ぐ有効策をとりたい。

#### 答 村長

現在、今年度の捕獲は7頭。うち1頭は「緊急銃猟」。人的被害防止で国から示されたガイドラインに添い実施。村独自の対応マニュアルの必要性を強く感じ、整備を進めたい。住宅地で緊急銃猟を実施する責任の重さが一番の課題。鳥獣被害防止計画は、今年度中に作成する。

**問** クマの捕獲数や全国2例目の「緊急銃猟」対応と課題。昭和村鳥獣被害防止計画の見直しは。  
**答** クマ被害を未然に防ぐ対応策は、どうなのか。

隣接する道路等に大きく張り出し、交通に支障がある場所を優先的に対処している。他の地域とのバランスも考慮し工事を行っている。管轄を超えた対応は疑問。今後沼田土木事務所

#### 答 村長

県土木管轄と思われる沢から、竹や雑木が伸び、景観を損ねる場所がある。現状認識と伐採処理の早期実現を積極的に進め、管轄を超えた対応を求めたい。

#### 問

### 村長 連携を密に図り要望や情報提供をしたい

#### 答 村長

ゾーニング管理は、人

**問** クマと人の住み分けのゾーニング管理で、安全対策は考えられないか。

の生活圏とクマの生息域を明確に区分し、各区域に応じた対策を実施することで、クマの出没を抑制し、人身被害や農作物被害を軽減するもの。県の指導のもと、「ゾーニング管理」に取り組み、

**答 村長** 今年の8月に沼田土木事務所に昭和付近の堤

#### 答 村長

**問** 昨年9月議会の一一般質問で、昭和付近の河川整備で、地域住民の安全・安心の確保の要望を伝えた。その後、国・県など関係各所と、どんな協議と対応をとったのか。

で管轄する道路や河川などの支障木処理の要望は、村からお願ひし、県で対応と考えている。

#### 答 産業課長

緑の県民税事業で竹林伐採や林の間伐等も行ない、併せて推進したい。

クマ被害を未然に防ぐ環境づくりを推進したい。



役場付近の片品川

防の嵩上げ等の要望を行ってきた。片品川は、洪水等に安全に流すことができる最大の流量を指す流下能力は保たれているとのことであった。沼田土木事務所は、定期的に片品川の環境整備を行っている。糸井河原付近の河川整備を発注していることで、この事業で、昭和中学校付近の河川内整備の要望をしたい。



堤

宏康

議員

## 第6次総合計画の総論的な点で、土地利用の基本的な構想・方向は

**村長** 従前の計画で掲げている土地利用方針を踏襲しゾーニングに基づいて進めていく

**問**

土地利用の方針は村づくりの基盤をなす大変重要な施策であり、本村のこれまでの総合計画に位置付けられていました。昭和村第3次総合計画（1995年）、4次（2005年）5次（2015年）と脈々と受け継がれてきた、今日の昭和村の発展、開発にとつての重要な指針であるという認識です。第3次では、合目的な

土地利用の方針は村づくりの基盤をなす大変重要な施策であり、本村のこれまでの総合計画に位置付けられていました。昭和村第3次総合計画（1995年）、4次（2005年）5次（2015年）と脈々と受け継がれてきた、今日の昭和村の発展、開発にとつての重要な指針であるという認識です。第3次では、合目的な

土地利用と利用ゾーンを示しています。第4次では5つのゾーンと河岸段丘ベルトを定義付け明確にしています。第5次では5つのゾーンを踏襲しつつも、新エネルギーを加え発展させています。また、コンパクトな都市機能が整備された村づくりについても言及しています。

土地利用と利用ゾーンを示しています。第4次では5つのゾーンと河岸段丘ベルトを定義付け明確にしています。第5次では5つのゾーンを踏襲しつつも、新エネルギーを加え発展させています。また、コンパクトな都市機能が整備された村づくりについても言及しています。

**答** 村長

本村の基本的な土地利用の方向性は、これまでの取り組みにより定着し共有されていることが考えられるので、第6次には方針を掲げなかった。従前の土地利用方針を踏襲し、ゾーニングに基づいて進めていく。

本村の基本的な土地利用の方向性は、これまでの取り組みにより定着し共有されていることが考えられるので、第6次には方針を掲げなかった。従前の土地利用方針を踏襲し、ゾーニングに基づいて進めていく。

**問**

第5次総合計画時に土地利用の基本方針を遵守し、集落ゾーンに役場庁舎が新調されたと理解しています。第6次におきましても、土地利用を明確にして、進めていただきたい。

**答** 村長

農業立村なので、農業が主体となるゾーンは必ず確保しなければならぬ。

## 学校問題について、候補地の選定基準について

**教育長** 昭和村として重要視していく重みづけと、土地利用のゾーニングも重要な要素である

**問**

義務教育学校との報告を受けてどのようなお考えでしょうか。

**答** 教育長

令和8年度から起算して5年後を目安としたい。

**答** 教育長

施設整備の方針と候補地選定基準を設定し、透明性のある形で協議を進める。ホームページや住民説明会などで示すことも考えたい。

**答** 教育長

どの点を昭和村として重視していくかという重みづけと、土地利用のゾーニングについても重要な要素である。

**答** 村長

総合教育会議において、義務教育学校との報告があり了解した。

**問**

目指す開校年度の想定は。

**問**

候補地の選定について推進協議会資料の中に選定基準として7点の大項目と、さらに細かな観点が示されていますが。

**問**

候補地の選定基準に、むらづくりにおける視点「将来性、建

加藤 生 議員



## ポンプ操法競技大会について

総務課長 団員の負担軽減を考慮し、2年に一度の開催

**問** 新規団員確保に向けて、村として特別な支援策は。

**答** 村長

「広報しようわ」で毎月、消防団活動を紹介。令和4年から機能別消防団員制度を取り入れて消防力の低下を抑え団員確保に努めていきたい。また令和6年度から準中型免許を取得する費用全額を補助。

**問**

総務省消防庁では団員一人の年額報酬は3万6千500円、出動手当は8千円とされていますが、村での取扱いと、分団運営費、維持管理費の適切な予算措置について伺います。

**答** 村長

令和3年度から団員報酬を3万円に増額。団員一人あたり2万2千500円の分団運営費補助を含め、団員一人あたりは5

万円を超え、令和5年度には出動手当を出動時間により、4千円と8千円に増額など、処遇改善を行っています。

また、消防委員会で国

基準の年額報酬を含め、協議をしていき、来年度から新たに夏用の活動服の整備を考えています。

**問**

ポンプ操法競技について。

## 農作物収穫残さの焼却対象品目の追加は病害虫の抑制に有効

**問**

こんにゃく、アスパラ、ウド、雨よけトマトの4品目が焼却の対象になっているが、これ以外でもナス、つる有いんげん、枝豆等の殻も焼却を希望する声が多くあるので、県条例の見直しをさらに拡大していただきたい。

**答** 村長

焼却品目の追加につ

**答** 総務課長

利根沼田支部において、団員の負担軽減を考慮し、2年に一度の開催。10年に一度各分団にまわり、その都度分団の事情など本団を含め、対応を考えたい。

**答** 村長

全体の中から選手を選

**問**

肥料の三大要素である特にカリウム分の補給については、焼却による灰が一番有効。

では、新たな作物において病害虫抑制のために焼却が有効かつ必要と判断される場合には関係機関と連携の上、運用の可否について慎重に考え、営農環境が確保されるよう適切な対策を進めていきたい。

**答** 産業課長

ナス等焼却品目の追加は、作物ごとに病害虫の発生状況や周辺環境への影響などを総合的に考慮する必要があり、調査、研究した上で、関係機関と調整していきたい。

連作が厳しい作物などの病害虫対策にも焼却処分が作物や環境にもやさしいと思うが。



出する案も分団長会から出ています。そういった案も含め、協議していきたい。



佐藤 好美 議員

## 季節性インフルエンザ予防接種の乳幼児等2回目接種分助成を

**村長** 子育て世代を支える村づくりに貴重な意見、今後調査・研究

### 問

村では、インフルエンザの発病またはその重症化防止、経済的負担軽減を図るため、費用の一部を助成金として交付。国では生後6ヶ月から13歳未満までが、インフルエンザワクチンの2回接種が原則です。村では1回分の助成金のみですので、2回目の接種が必要な該当者に、接種費用の助成拡充を求めます。

### 答 村長

村では、インフルエンザ罹患者の全数を正確に把握することは困難、予防接種の村全体の種率も把握していません。

令和6年度の、助成対象者に対する公費負担分接種者は、高齢者が133名、生後6か月から中学3年生までが350名、重症化・妊婦が15名の合計1,698名が接種。

2回目の接種は任意接種で、村で積極的に推奨するべきものではないが、子育て世代を支える村づくりの観点から貴重な意見とし、今後の施策について、調査・研究していきます。



県感染制御センターによりますと、感染者全体の7割以上が15歳未満を占めているとのこと。物価高騰で大変のなか、子育て世代に優しい村の推進として助成拡充の実現を求めます。

## 岩本駅に隣接する「昭和村岩本駅前駐車場」の整備について

**村長** 舗装劣化・LED照明等時期を見て対応

### 問

岩本駅に隣接する「昭和村岩本駅前駐車場」は、村内外の方に喜ばれ、利用料は村の貴重な収入となっております。

### 答 村長

「岩本駅前駐車場」は、鉄道通勤、通学をする者の利便性のため、村営駐車場として設置。駐車は、月極、短期利用、緊急車両や身障者用と駐輪場が整備。今後、舗装・照明器具の経年劣化について対応していきます。

そこで、駐車場の舗装劣化対策や、利用時のシステムの効率化、自動改札の導入等利便性の向上対策を講じてください。

現在、利用する時は役場に出向き、諸事項を記入、現金を払い借りる仕組みです。沼田市が管理する駐車場は、ゲート方式・キャッシュレス化も始まりました。本村も舗装整備はもちろんのこと、時代に沿った利用システムを求めます。

駐車場を借りるシステムの効率化は、利用者の利便性が向上しますが、当該用地は近隣の意向を前提に村へ誘致した経過があり、導入を見合わせています。



昭和村岩本駅前駐車場



倉沢 つかさ 議員

## 物価高騰により、給食内容に影響はないのか

**教育長** 材料費の上昇は予算不足見通し、補正予算求める

**問**

最近、物価高騰の  
 ありが、給食材  
 料購入に大きく影響を  
 していると感じています。  
 給食は、児童・生徒の  
 成長のための栄養バラ  
 ンスを考えて、提供をし  
 ています。

材料費が高騰すると、  
 決められた予算内で材  
 料を調達するとカロリー  
 だけを重視すると栄養の  
 バランスが崩れそうです。  
 給食センターの努力に  
 より、食材調達、食材提  
 供企業とのやり取りを進  
 め、子供に必要な栄養を  
 考えていると思います。  
 教育長に現場の状況と課  
 題があるならどのような  
 対応を検討しているかお  
 聞かせください。

**答**  
 教育長

今年度の給食材料費の  
 状況については、主食の  
 米を筆頭に野菜・肉類・  
 調味料等すべての食材に  
 おいて値上がり傾向です。  
 バランスの取れた給食を  
 届けるために品質を下げ

たり、量を減らすことは  
 適切ではないと考えてい  
 ます。学校給食に携わる  
 スタッフが努力をしてま  
 すが、予算が不足する見  
 通しとなっております。

今回、補正予算編成に  
 おいて給食材料費として  
 420万円を計上させて  
 いただきました。質・量  
 ともに十分な給食を提供  
 して参りたいと考えてい  
 ます。

**問**

食材提供企業との  
 契約内容変更と給  
 食材料を県または国が補  
 助してくれる動きがある  
 のか村長にお伺いします。

**答**  
 村長

年度途中の契約内容変  
 更は通常は行っていませ  
 んが、納品いただいてる  
 事業者の事情や納品物が  
 ふさわしくないと判断し  
 た際には、臨時で他の事  
 業者を探すこともありま  
 す。  
 品物・価格に合わせて  
 安心安全な食材を安定供

給できる事業者を選定し  
 ています。

国も県も小学校の給食  
 費無償化に向けて動いて  
 ますが、中学校では、ま  
 だ計画に入っていないよ  
 うです。

### 自主防災組織地区増、村との連携は？

#### 村長 地区防災計画の策定や村全体の 防災訓練の開催などを協議

**問**

村では、各地域の  
 防災力向上のため  
 補助金を交付して自主防  
 災組織の立ち上げを進め  
 ています。今年度に入り  
 複数地区の立ち上げが報  
 告されてます。今後は村  
 と、どのように連携して  
 村の防災力を高めていく  
 予定ですか。

**答**  
 村長

令和6年度末までに設  
 立された8地区に、今年  
 度新たに8つの地区が加  
 わり合計16地区の自主防  
 災組織が設立となりました。  
 「自分たちの地域は



バランスのとれた給食



入原区7回目の防災訓練

自分で守る」という意識  
 のもと、地域住民が連携  
 して結成されました。村  
 全地区の設置を目標にし  
 ています。  
 今後は、地区防災計画  
 の策定支援や村全体での  
 防災訓練の開催を協議し  
 ていきたいと思えます。



林 幸司 議員

## 村政70周年記念で

## 「昭和村史」編さんを

村長 「費用・人手・時間がかかり本気でなければできません」

### 昭和100周年にあたり記念事業の実施を

**問** 合併前70市町村で、村史(誌)が無いのは昭和村と他1町だけです。70周年記念として昭和村史の編さんに着手し、久呂保・糸之瀬・赤城根の3冊を引き継いで、その後70年をまとめる、今ならできます。村史発行を求めます。

**答** 村長 100周年、ホームページ、広報、道の駅でアピールは考えています。県内68市町村が作成しております。



合併50周年に向けて協議し、写真集とした経過があり、改めて作成は考えておりませんが、個人としては作らなければと思っています。川場70周年村誌はすばらしいものです。本気でなければできない、予算が相当かかる。皆さま方のご理解をいただければ進めていかなければと、重々承知はしております。



### 村長選の公約実現率10%では

村長 学校の在り方再検討で義務教育学校に向けて協議中

**問** 選挙前を含め3種類のビラ、村民への公約であり、岩本駅前駐車場半額になど実施状況について説明を求めます。今後の公約実施予定について説明を求めます。

**答** 村長 選挙に関する討議資料

ですが、学校の在り方再検討、小中学校入学祝い金の新設、昭和中のスクールバスを実施しました。

岩本駅前駐車場半額の要望はありますが、できないと考えています。今後の予定ですが、来年度の予算編成中なので控えてさせていただきます。

村長 他市町村の助成額や範囲対象を参考に検討する

### 犬猫の手術費補助事業の実施を

**問** 犬や猫の多頭飼育崩壊が社会問題となつています。沼田・みなかみ・川場など、ほとんどが実施している「犬猫の不妊・去勢手術費補助金交付」事業の実施を求めます。

**答** 村長

動物愛護条例では、行政と住民が一体で動物との共生社会の実現を推進していく必要があります。県内23市町村が3から5千円の助成を実施しており、これらを参考に考えてまいります。

# 地域でがんばる人



## 連合創立20周年記念かるた制作で選出

日本で最も美しい村連合創立20周年記念で、短歌作品の募集があり、私の出した「高原の菟蓐見つつ通る道武尊に薄き虹の立つ朝」が、かるたに採用されました。

この短歌は、いつもトマトを挽ぎに行く朝と夕に、関越高速道の下方面から見える山々の景色や虹を見て感動し、短歌にしてみました。



加盟町村地域から57の作品が選出  
昭和小を讀んだかるた：読み札(右)と取り札(左)

私は、寺貝戸から川額へ嫁ぎましたが、昭和小の自然の豊かさは、素晴らしいと思っています。三人の子を育て、少し暇を取れるようになったので、四十年前頃からコーラスへ月二回、黒土短歌会へは月に一回通い、家族や友達にも恵まれて幸せです。元気に働き続けて五十四年余。長く続けてきた養蚕やこんにゃく栽培を止めて、今は夫と二人でトマトや独活のほか、稲作を頑張っています。

こんにゃく価格が低迷していた中で、村の芸能祭で、「こんにゃく野郎」の歌を聞き、近くの人や知人の多くが栽培しているの、こんにゃくの宣伝をしたいとその日から思っていました。群馬県歌人クラブ年刊歌集に「歌や詩が老いて益々心打つ芸能祭で聞くこんにゃく野郎」の短歌を出詠しました。

短歌もコーラスも会員の中で喜



倉沢美代子さん (川額・根岸)

寿を過ぎ、最高齢ですが、これからも好きな趣味を、続けて行きたいと思っています。

今回、日本で最も美しい村「かるた制作の応募用紙」を頂き、応募してみた結果ですが、全国から多くの作品が集まった中で、採用されて、有りがたく感謝でいっぱいです。日本で最も美しい村かるた制作で、昭和小の魅力、私なりに表現ができてよかったです。

### 議員出前懇談会

1月20日から1月28日の間に村内6会場で実施した出前懇談会では、多くの方から貴重なご意見をいただきました。詳しくは次号に掲載いたします。

### 編集室から

良いことばかりではなかった令和七年が終わり、新たな気持ちで新春を迎えた方も多いと思います。議会活動がより一層わかりやすい紙面づくりを目指してまいります。本年もよろしくお願いいたします。

我々、十七期議会も残り任期一年を切りました。三年間の集大成として的一年になります。「いごちのいい村」を目指して議員一同より一層奮起していかねければと感じます。

令和八年が良い年になるよう願っています。

永井 一行 記

### 議会広報編集特別委員会

- 委員長 林 栄一
- 副委員長 藤井 貞充
- 委員 阿部 孝司 佐藤 好美
- 堤 宏康 沢浦 典子
- 永井 一行



議会だより  
既刊号